

浮函（ポンツーン）の引揚げ

1. 準備工

引揚げ準備工の歩掛りは下記を標準とする。

(1 函当り)

名 称	規 格	単位	浮 函 の 重 量			摘 要
			100～200t	201～300t	301～400t	
潜 水 士 船 運 転	D180PS 3～5t吊	日	3.0	6.0	6.0	就8H
台 船 運 転	鋼D100t積	日	1.0	2.0	2.0	就8H
引 船 運 転	鋼D300PS	日	1.0	2.0	2.0	運2H／就8H
ハッチカバー損料		式	1	1.0	1.0	必要に応じて計上する
普 通 作 業 員		人	5.0	10.0	10.0	
雑 材 料		式	1	1	1	

備考 1. ハッチカバー損料は下記材料単価の50%を計上する。

鉄板	t=12m／m・・・径は、マンホールの径φ600～1,000m／mとする。	
ガスパイプ	φ46m／m・・・水深により決定する。	
ゴムパッキン	t=10m／m・・・マンホール面積分を計上する。	
ボルト	φ16m／m l=60cm	
溶 接 工	1.0人	製作費として計上する
普通作業員	0.5人	
雑 材 料	1 式	

2. 引揚工

本歩掛りは、水中に没している浮函を水面上まで浮上させ、破損ケ所を応急補修して、排水ポンプで排水し浮かす作業である。

海底に埋没している場合は、別途床堀を計上すること。

引揚げ歩掛りは下記を標準とする。

(1 函当り)

名 称	規 格	単位	浮 函 の 重 量			摘 要
			100～200t	201～300t	301～400t	
起 重 機 船 運 転	旋回式鋼D100t吊	日	2.0	—	—	運6H／就8H
	固定式鋼D200t吊		—	4.0	6.0	
引 船 運 転	鋼D600PS	日	2.0	4.0	6.0	運2H／就8H
台 船 運 転	鋼D100t積	日	2.0	4.0	6.0	就8H
潜 水 士 船 運 転	D180PS 3～5t吊	日	6.0	12.0	18.0	就8H
揚 錨 船 運 転	鋼D3t吊	日	2.0	4.0	6.0	運2H／就8H
排水ポンプ運転		日				排水容量により運転日数を算出する
発動発電機運転		日				排水ポンプの規格台数より求める
普 通 作 業 員		人	16.0	32.0	42.0	
雑 材 料		式	1	1	1	

3. チェーン水中切断及び引揚げ

チェーンを水中切断し、引揚げる歩掛りは下記を標準とする。

(1 函当り)

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
クレーン付台船運転	35t～40t吊台船300t積	日	1.0	運6H／就8H
引 船 運 転	鋼D300PS	日	1.0	運6H／就8H
台 船 運 転	鋼D100t積	日	1.0	就8H
潜 水 士 船 運 転	D180PS 3～5t吊	日	1.0	就8H
溶 接 機 運 転	D300A・海上現場	日	1.0	
普 通 作 業 員		人	3.0	
雑 材 料		%	5.0	

- 注) 1. 1 函当たりとは、碇けいチェーン(4本)及び補助チェーン(落橋防止チェーン含む)をいう。
2. 小規模工事(維持修繕工事)等により、切断箇所が4箇所以下の場合は、本歩掛りの1/2とする。

4. チェーン水中切断

チェーンの水中での切断歩掛りは、下記を標準とする。

(10ヶ所当り)

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
クレーン付台船運転	35t～40t吊台船300t積	日	1.0	運6H／就8H
引 船 運 転	鋼D300PS	日	1.0	運6H／就8H
潜 水 士 船 運 転	D180PS 3～5t吊	日	1.0	就8H
溶 接 機 運 転	D300A・海上現場	日	1.0	就8H
普 通 作 業 員		人	3.0	
雑 材 料		式		

- 注) 1. 小規模工事(維持修繕工事)等により、切断箇所が4箇所以下の場合は、本歩掛りの1/2とする。

5. チェーン陸上切断

チェーンの陸上での切断歩掛りは、下記を標準とする。

(20ヶ所当り)

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
溶 接 機 運 転	D300A・陸上現場	日	1.0	
溶 接 工		人	1.0	
普 通 作 業 員		人	1.0	
雑 材 料		%	3.0	